



学校だより

北門

【校訓】

誇りと責任

旭川市立北門中学校

NO. 7

平成30年10月31日

第58回の開校記念日を迎えて

校長 村田 昌俊

昭和35年11月4日、旭川市立北門中学校が開校し、今年で58回目の開校記念日を迎えました。卒業生は既に1万5600人を越えています。60回には1万6000人となります。

校門を入って左側の前庭にあるイタヤカエデは、既に樹齢百数十年を越す大樹です。実はこの大樹は開校当時はグラウンドの端にあつて、昼休みや放課後の時間には生徒たちが木陰で休んだり、友人と語らう場所となっていたようです。

北門中学校のシンボルツリーであるこのイタヤカエデの大樹もだいぶ痛んで来ました。多くの生徒達たちを見守ってきたこの大樹を末永く保護して行きたいと願っています。現職の校長として、PTAや地域の皆様、行政機関とも連携し、今後、「北門中学校のシンボルツリー＝地域の方々にとっても親しみ深い樹」を保護して行きたいと考えておりますので、何か良い知恵がありましたらご連絡をいただけましたら幸いと存じます。

→知里幸恵さん文学碑の後ろにある大樹

生徒達に「あっわかった」[そうか～なるほど]を体験してほしい

校長 村田 昌俊

前月の学校便りで掲載した本校の生徒の学力向上に向けた取組ですが、方向性を大きく次の3本柱としました。教職員が努力することは当然ですが、できれば保護者・地域の方々にもご支援とご協力をいただけたらと思ひ素案を掲載いたします。

- 1 授業改善と工夫を教職員全体で取り組む
- 2 学習意欲を高めるための取組の工夫→今回の通信で提案します
- 3 文章を読んだり、書いたりする機会を増やす→次回の通信で提案します

学校の授業においては、生徒達の実態や理解に応じて、生徒に「わかる授業」を提供することが何よりも大切です。様々な教育関係者や教育関係の本の全てに示されているように、義務教育段階では最も大切なのは、「生徒がわかる授業」なのです。生徒の視点に立ち、生徒の意欲を引き出す授業改善の取組をチーム北門で進めて行きたいと思ひます。

今回は「学習意欲を高めるための取組の工夫」を中心に説明させていただきまます。「学習意欲を高めるためにはどのような方法があるのか？」これについては古今東西あらゆるところで検討され、様々な立場の方達が多様な角度から提言されていますが、早く効率よく結果が出る方法はすぐに見つかりません。だからといって何もせずに立ち止まって指を咥えていることはできません。そこでこの度、考えたのは「自分に応じた学び方や学習方法を自分で見つける」という方法です。」少し回り道かもしれませんが、次の3つの方法を考えてみました。

- (1) 自分の学び方について身近な大人に相談し、自分にあった学び方を工夫してみる。
- (2) 「自分がわからなくなったところやわからないでそのままにしてあったところ」に戻って、具体的に学び直しを行う。
- (3) 「なぜ勉強するのか」「学校の勉強は必要なのか」「社会に出て役立つ学習とはどんなことか」など、やや理屈っぽくなるかもしれませんが、そのあたりのお話を社会人の方々や人生の先輩たちのお話や交流の中から学んでみる。

この3つの内容について、生徒の希望者を募り、学習相談と補習時間を設定したいと思います。具体的には、11月後半の放課後、冬休みの時間を活用して1・2年生を中心に保護者・地域の方々、学生ボランティア、卒業生や北門中学校の先生などとの対話や相談などの形を活用し、「自分の学びを見つける試みる機会」を設けてみようと思います。

生徒の学習パートナーとなっていていただく方を、保護者・地域の皆様、学生ボランティアから募り、生徒の学習方法の相談や補習などのお手伝いをしてくださる方を募集したいと思います。詳細は、保護者・地域の方々等に正式な依頼文書を11月に送付いたします。

職場体験学習を実施しました！《2学年》

10月11日（木）、旭川市内の約34か所の事業所や施設、店舗等のご協力をいただき、2学年による職場体験学習を行いました。

職場体験は、生徒が直接働く人と接することにより、また、実際的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感することのできる貴重な学習の場と考えています。また、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲などを培うことのできる教育活動としても、重要な意味を持っています。

本校としましても、この職場体験学習をキャリア教育の中核において、今後も望ましい勤労観や職業観を育てていきたいと考えております。今回の体験活動を、生徒たちが夢に向かって羽ばたく一歩となるように今後も指導を続けていきます。

【体験を終えた生徒たちの感想を紹介します！】※一部抜粋

【道北振興株式会社 Y・S君】
お客様のお気持ちを考えながら仕事をすることが大切だと感じました。また、挨拶や言葉遣いなどのマナーがすごく大切だということを知ることができてよかったです。

【グループホームつながり T・Nさん】
私は、今回の経験でたくさんの方のことを学びました。お年寄りの方とコミュニケーションをとる難しさ、人に感謝される嬉しさ、一日が終わったことへの達成感、全部これからの将来に関係するものだと思います。

【なごみ動物クリニック S・Nさん】
獣医師になるには、勉強をしなければならぬこと。獣医師は、動物への気遣いの他、人への気遣いも大変であること。中でも、動物の安全は第一に考えていることがわかりました。そして、獣医師は、命を預かる仕事なので、責任感が大切だと思いました。

【大有小学校 T・K君】
体験を通して、学校の先生は、常に子どもたちのことを一番に考えて仕事をしていることがわかりました。また、どんな時も正面から子どもたちと向き合うということを学びました。今回学んだことを、学校生活や部活動、これからの進路にいかしていきたいです。

職場体験学習(写真館)



携帯安全教室を開催！

10月22日(月)に、携帯電話等の正しい知識とルールを理解し、インターネットやSNSなどの安全・安心な使い方や使用方法に関するモラルを身に付けることを目的に、ソフトバンク株式会社 小口 真和様ら3名をお招きして、携帯安全教室を開催しました。講義は、パワーポイントやミニ動画を活用して進められ、中でも、質問形式の場面では、各学年から積極的な意見が発表されるなど、活気に満ちた学習会となりました。

スマホは持ち運びができる小さなパソコンと言われていています。様々なアプリが利用できるとともに、通話やメール以外にも、多種多様な方法で簡単に連絡を取り合うことができる大変便利なツールです。そのため、ネットトラブルを理解し防止するためには、さらに多くの知識やモラルが必要となってきています。一度大きな失敗をすると、個人レベルでは取り返しのつかない大失敗(刑事事件や賠償問題にも発展)につながる例も報告されています。今回学んだことを忘れることなく、正しい使い方やマナーをしっかりと心がけてほしいと思います。「まだ、中学生だから…」という言い訳は、全く通用しません。

また、当日は、お忙しい中、保護者の方々にも参加いただきまして、本当にありがとうございました。

